

会 議 議 事 録

1 会議名	令和7年度 第1回社会教育委員会、公民館運営審議会
2 開催日時	令和6年6月5日（木）午後3時～午後5時
3 開催場所	さいわいプラザ4階 中央公民館 大ホール
4 出席者名	【社会教育委員兼公民館運営審議会委員】 野田委員、前田委員、小方委員、松井委員、今井委員、藤田委員、西片委員、八子委員、富永委員、長部委員、大森委員、大竹委員、大淵委員、山崎委員、小林委員、山田委員、若月委員 <中央公民館職員> 嶋谷中央公民館長、今井館長補佐、菅係長、池澤主査
5 欠席者	黒崎委員、岡田委員、小川委員
6 内容	1 あいさつ 2 新任委員へ委嘱状交付 3 新任委員等の自己紹介 4 議題 （1）令和7年度長岡市社会教育の基本方針及び各担当課の事業紹介 （2）令和7年度長岡市社会教育委員の活動及び自主研修の進め方 ① 県社会教育研究大会と自主研修について ② WGのこれまでの報告と今後の取り組みについて 5 特別講座 「長岡市における SNS を活用した情報発信について」
7 議題の審議結果	(1) 資料1～3により、基本方針及び各担当課の事業について紹介 (2)① 資料4により、自主研修について説明し意見交換を行った。 (2)② 資料5により、WGのこれまでの報告と今後の取り組みについて説明し意見交換を行い、(2)①も含め、説明した内容と進め方で、今年度の活動を行うことに決定した。
8 議題の審議内容	
委員	議題（1）については省略 <議題（2）について> 社会教育は、「大きな社会教育」と「小さな社会教育」があるように感じている。大きいものは、市が主催する講座のような学びの場、小さいものは、コミセンのような地域内の学びの場。説明の中では、基本方針の重点施策3「コミュニティ活動の推進」に焦点をあてるとのことで、小さな社会教育への取り組みであると考えているが、なかなか情報が集まりにくいいため、大きな社会教育もあ

委員	る中で、社会教育委員としてどちらに力を入れたらいいのか。これから説明のある WG の取り組みは、小さな社会教育だけではなく、大きい方も対象と考えていいのか確認をしたい。 大きな社会教育は、重点施策 2「多彩なまなびの提供と人材育成」であり、小さな社会教育は、重点施策 3 の「市民協働による地域力を生かしたコミュニティ活動の推進」であると思う。市の講座やイベントに参加し、事業に関する意見をフィードバックすることも、今後の WG での細やかな取り組みも、どちらか片方ではなく、それぞれの社会教育にも寄与すると言える。
委員	大きい社会教育は、中央公民館を中心とした市が、小さい社会教育は、WG で進めるなど、連携をしながら進めていけばよいと思う。そして、社会教育の PR をもっと積極的にしてほしい。また、地域の伝統の継承も大切なテーマにする必要があると考える。
委員	各委員には、推薦された区分がある。それぞれの関係する分野の特性や知識を生かして取り組み、意見していただければいいと思う。
委員	地域の活動では後継者がいないという大きな問題がある。基本方針 4「青少年が自ら主体的に行動できる力の育成」のように、子どもたちがどのように参加しているか見ていきたいと考えている。参加することで、自分も貢献できないか考えるようになったり、将来的に参加してもらえるように、SNS などの活用によって多くの人に参加してもらえるように取り組みたいと思う。
委員	リーフレットは案であり、これからの活動を通してブラッシュアップを重ねていきたい。
9 会議資料 別添のとおり	